

佐藤成広作 「クラブ活動2」

- 全員 (体操の掛け声)1、2、3、4！(遠くから走ってくる)
- 先生 明日はいよいよ駅伝だな。今日は早く寝て、睡眠を十分にとっておけよ。以上。
- 全員 ありがとうございます！
- 効果音 (ガヤ。水道の水)
- 山田孝 おい藤原。調子はどうだ？
- 藤原和宏 ああ、絶好調だよ。
- 孝 お、言ったな。明日、1人抜いてこなかったら、藤原だけ、あさって1万な。
- 和宏 お、おい、冗談じゃないよ。
- 孝 もう決めたからな。部長命令だぞ。
- 孝・和宏 (笑い)
- ナレーション 秋も深まって、真っ青な空の下^{もと}では、スポーツもたけなわです。藤原君が属する青春高校の陸上部も、地区の高校数校が集まって催される、恒例の秋の駅伝大会のために、この1か月間、汗みどろの努力を続けてきました。そして今、いよいよ駅伝を明日に控えて、最後の練習を終わったところです。みんな、やる気十分のようです。特に藤原君は、1年生ながら、その俊足と粘り強さで、他校にもマークされ始めた、青春高校のエースでした。彼は、中学3年の時にイエス様を信じた、熱心なクリスチャンで、彼のガッツは、いつも上を目指して進もうとする、その信仰から来ているに違いありません。
- 音楽 (ブリッジ)
- ナレーション そしていよいよその当日――。
- 和宏 神様、この日のために苦しい練習に耐えてきたのです。自分のベストが尽くせるよう、お守りください。
- ナレーション いよいよ駅伝のスタートです。
- アナウンサー (フィルター音)各チームの第1区の選手は、スタート地点に集合してください。
- スターター 位置に就いて。(「ドン」と雷管の鳴る音)
- 効果音 (ワーンと上がる歓声)
- ナレーション 青春高校は、15位当たりについていっています。そして、第2区は藤原君です。
- 和宏 (モノローグ)緊張するなあ。孝はまだかな。あ、来た来た。(大声で)おーい、ここだ！
- 孝 (あえぎながら)頑張れよ。
- 和宏 (バトンタッチして)おっ、任せとけ！
- 効果音 (走る足音)
- 和宏(モノローグ)今日は、気温も湿度もちょうどいいし、体のほうも絶好調だ。よし、区間賞目指すかな。
- 効果音 (走るピッチ、上がる)
- 先生(エコー) いいか、絶対にペースを乱しちゃいかん。自分のペースを大事にするんだ。
- 和宏(モノローグ) そんなこと言ったって、今日は調子がいいんだ。
- 効果音 (快調な足音)
- 声援 青春高校頑張れ！ 25番しっかり！ もう300メートルで前に追いつくぞ！
- 和宏(モノローグ) あと300メートルだって？ ようし、やるぞ。

効果音 (ピッチ、更に上がる)

和宏(モノローグ) ようし、見えてきた。なんだ、もうへばってるじゃないか。あんなのを抜くのは簡単さ。

効果音 (足音、2人になる)

和宏(モノローグ) こいつ、抜こうとしたら急にピッチを上げやがって。この～。

効果音 (1人の足音、次第に遠のく)

和宏(モノローグ) どうだい、ザマあ見ろ。結局は抜かれちまうんだから、潔くあっさりとは抜かれればよかったのにさ。

効果音 (快調な足音)

和宏(モノローグ) 少し暑くなってきたなあ。体がだるくなってきた。(間)なんだ、あの坂は?! 下見に来た時よりも、急になってるじゃないか。

効果音 (足音。乱れた息使い)

和宏(モノローグ) (苦しそうに)クソ、これくらいなんだって言うんだ!

先生(エコー) 苦しくなったら、練習の時のことを思い出すんだ。あれだけ必死に練習をやったのは、一体なんのためだったんだ? いくら苦しくても、それより苦しい練習を切り抜けてきたんじゃないか。

和宏(モノローグ) そうだ! おれは、もっと暑い合宿の時の練習をこなしただ。あの時のが、今より何倍も苦しかったじゃないか。

声援 青春高校頑張れ! もう半分過ぎたぞ。

和宏(モノローグ) それにしても苦しいな。のどが焼けつくようだ。考えてみると、僕も因果なスポーツに取りつかれたもんだな。ただ黙々と走るだけ。そう言えば、クラスのやつらにも言われたな。
(回想)

友達A 藤原君、毎日大変ね。

和宏 ああ。今日は1万ジョグ。

友達B 1万? うわ、おれは1000でも持たねえよ。だけどお前、そんなにただはして何が面白いんだよ?

友達A 本と。どうせやるなら、バスケとか野球とか、もう少しカッコいいのやればいいのに。そしたら、わたしたちも応援頑張ってもらえるのに。

友達B ま、バカみたいに走ってばっかいないで、適当にやった方がいいんじゃないの?
(回想終わる)

和宏(モノローグ) あの時はムツとしたけど。だけど、考えてみると、おれ、ほんとになんで走っているのかな。こんな苦しいことをしなくても、うちでごろ寝して、テレビでも見てた方が、ずっと楽なのにな。そんなこと言ったら、おれたちがしてること、みんな無駄になっちゃまないか。勉強だって投げ出してしまった方が、絶対に楽なのに。——なんでこんなことやってんのかな、おれ?

効果音 (足音)

和宏(モノローグ) そうだ、イエス様が付いているんだ! だから、苦しくても頑張らなくちゃいけないんだ。よし、やるぞ!

効果音 (軽快な足音)

声援 「頑張れ!」「あれ、どこの高校だ?」「快調に飛ばしてるなあ」

和宏(モノローグ) おれが自分の最大限を出してるのが分かるかい? 神様のすばらしさが分かるかい?

効果音 (足音、乱れる)

和宏(モノローグ) 少し飛ばしすぎたのかなあ。暑い！ 横っ腹が痛い。苦しい…。(あえぎながら)あとどれくらいだろう？ 苦しい。クソ～。おれの体なのに、自由にならない。

効果音 (後ろからもう1人の足音)

声援 おい、25番、しっかりしろ。抜かれるぞ！

和宏(モノローグ) 後ろから来たのか。あと少しだったのに。

効果音 (2人の足音、並ぶ。それから1人、遠のいていく。)

声援 あ～あ、抜かれちゃった。

和宏(モノローグ) クソ！ なんてこった。さっきおれが抜いたやつじゃねえか。もう少しで終わりだったのに。

聖書朗読 「訓練と思って耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が懲らしめることをしない子がいるでしょうか。…すべての懲らしめは、そのときは喜ばしいものではなく、かえって悲しく思われるものですが、後になると、これによって訓練された人々に平安な義の実を結ばせます。」(ヘブル人への手紙 12:7,11)

和宏(モノローグ) よーし、おれのやれるだけをやってやるぞ！

先生 藤原、あと100だ。腕を振って！ 根性出せ！

和宏(モノローグ) あと50、あと20…。(激しい息使い)

聖書朗読 「キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。」(ピリピ人への手紙 3:13-14)

<完>